

69. 環境保護章

	考查細目	考查方法	考查のポイント	考查合格年月日	認印
1	環境保護の意義を知ること。	口述 または 記述	世界や日本で行われている環境保護の取り組みの意義を理解しているかどうか		
2	地域における大気・水・土壌のいずれかの汚れに関する問題を認識し、それが地球環境とどのように関わっているかを具体例を示し説明すること。	口述 または 記述	具体例を提示して説明できているかどうか。		
3	日本国内の絶滅危惧種を、動物・植物についてそれぞれ2種類以上挙げ、その現状について説明できること。 また、地域の自然環境に対し、人間の活動がどのように影響しているか調べ、例を挙げて説明できること。	口述 または 記述	絶滅危惧種について認識を深めるとともに、地域の自然環境破壊、外来種の影響といった、身近な自然環境に目を向けることも必要。		
4	地球環境に影響を与える有害物質を3種類以上挙げ、その危険性を減らすために、個人、グループまたは地域でできることについての提案をする。 現在具体的に取り組んでいる場合は、その内容(計画・実施・現時点での評価、等)を提示すること。	口述 または 記述	具体例を提示して説明できているかどうか。		
5	国立公園などの自然や環境についての知識を深めることができる施設を訪問し、そこで学んだ内容についてレポートを提出する。 特に、その周囲の環境や生態系に影響を及ぼしている事項について具体的に示すこと。	レポートの 提出	自然や環境についての 実地調査を行っている かどうか。		
6	「持続可能な開発」について、次の点に留意し、内容を説明できること。 ・国際的にどのような取り組みが行われてきたか？ ・日本は現在までどのような取り組みを行ってきたか？	口述 または 記述	(1)この概念が始まった当初からの日本の取り組みを説明できているかどうか (2)過去から現在までの取り組みを体系立てて説明できているかどうか		
7	環境保護活動に取り組むための計画を立て、実施し、その結果を隊長に報告し承認を受けること。	報告書の 提出	(1)報告書には実施の概要を記載させる (2)報告書には隊長の認印を要する		

考查項目のすべてに合格したことを証明します。

年 月 日